

## 令和元年度 県産木材の利用促進等に関する施策の実施状況

「兵庫県県産木材の利用促進に関する条例」第22条の規定に基づき、令和元年度の実施状況を取りまとめました。

### 【趣旨・結論】

#### 1 令和元年度の実績

県では、条例第12条の規定に基づき策定した「県産木材の利用促進等に関する指針」に沿って、県産木材の利用促進等に関する施策を展開しており、指針で定めた目標項目（以下、「指針目標」という。）については、概ね計画どおりに進捗している。

#### 指針目標の進捗状況（計画期間：H30～R2）

| 目標項目               |                 | 現状<br>(H26)         | R1                   | 目標<br>(R2)           | 進捗率<br>(R1/R2目標) |
|--------------------|-----------------|---------------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 県産材の安定供給の推進        | 県内年間素材生産量       | 316千 <sup>3</sup> m | 443 千 <sup>3</sup> m | 430 千 <sup>3</sup> m | 103.0%           |
|                    | 低コスト原木団地数(累計)   | 202団地               | 324 団地               | 350 団地               | 92.6%            |
|                    | 林内路網延長(累計)      | 1,207km             | 2,422 km             | 1,950 km             | 124.2%           |
| 県産木材の加工流通体制の整備     | 県内製材工場の製品出荷量    | 87千 <sup>3</sup> m  | 92 千 <sup>3</sup> m  | 110 千 <sup>3</sup> m | 83.6%            |
|                    | 兵庫木材センターの原木取扱量  | 162千 <sup>3</sup> m | 214 千 <sup>3</sup> m | 180 千 <sup>3</sup> m | 118.9%           |
| 県産木材の利用促進          | 県産木材利用木造住宅建築戸数  | 1,011戸              | 1,106 戸              | 1,100 戸              | 100.5%           |
| 木質バイオマスの利用促進       | 木質バイオマス発電用燃料供給量 | 64千 <sup>3</sup> m  | 168 千 <sup>3</sup> m | 170 千 <sup>3</sup> m | 98.8%            |
| 県産木材の利用を通じた森づくりの推進 | 間伐実施面積          | 3,754ha             | 3,851 ha             | 6,020 ha             | 64.0%※           |
|                    | 広葉樹林整備面積(累計)    | 1,498ha             | 2,710 ha             | 3,050 ha             | 88.9%            |
| 人材の育成              | 林業新規就業者数(累計)    | 96人                 | 357 人                | 290 人                | 123.1%           |

※H24以降、国庫補助対象が搬出間伐主体となり非経済林での間伐が減少した。このため、ひょうご森づくりサポートセンターによる市町支援を進め、森林環境譲与税を活用した非経済林の間伐を推進する。

#### 2 今年度の主な取組

- (1) 県産木造住宅を建築する工務店を増やすための取組強化
  - ①「ひょうご木の家」設計支援事業の支援枠増(R1:100→R2:150)
  - ②返済期間を延長した木造住宅ローンの普及促進 等
- (2) PR効果の高い都市部で木材利用が進むよう非住宅建築物への木造・木質化の取組強化
  - ①都市部市町の森林環境譲与税を活用した木造・木質化支援
  - ②公共交通拠点等の木質化推進
- (3) 木質バイオマス発電需要の増加を捉えた原木の安定供給
  - ①本県における主伐・再造林低コストモデルづくりの推進
  - ②基盤整備(路網・機械等)の推進

### 【内容】

#### 1 推進体制（「ひょうごの木」利用拡大協議会）

川上から川下までの関係者の参画による『「ひょうごの木」利用拡大協議会』（H30.8 設立、39名）に、①住宅、②非住宅、③木質バイオマス、④木育の4つの部会を設置して、分野ごとに課題を共有し、実践を促すことによって、総合的な県産木材の利用促進を進めている。

（裏面あり）

## 2 令和元年度の主な取組状況

### (1) 県産材の安定供給の推進

#### ア 森林施業の集約化と林内路網整備の推進

「第3期ひょうご林内路網 1,000km 整備プラン」(計画期間: R1~5)に基づき、低コスト原木供給団地 29 団地 2,051ha を新たに設定し、林道と作業道を合わせて 308km を整備するなど、基盤整備の充実を図った。

#### 低コスト原木供給団地・林内路網 1,000km 整備プランの実績

| 区 分            |         | 第1・2期<br>(H18~H30) | 第3期(R1~R5)       |         |
|----------------|---------|--------------------|------------------|---------|
|                |         |                    | R1               | 計       |
| 低コスト<br>原木供給団地 | 団地数(箇所) | 295<br>(270)       | 29<br>(30)       | (150)   |
|                | 面積(ha)  | 18,541<br>(13,704) | 2,051<br>(1,920) | (9,720) |
| 林内路網           | 延長(km)  | 2,113<br>(1,469)   | 308<br>(200)     | (1,000) |

※ ( ) 内は計画

#### イ 主伐・再造林の推進

資源循環林造成パイロット事業(R1年度新規)を宍粟市や養父市など7箇所で実施し、再造林にかかる森林所有者の費用負担軽減を図りながら、作業工程ごとのコスト分析を行い、本県における主伐・再造林の低コストモデルづくりの取組を開始した。

### (2) 建築分野における県産木材の利用促進

#### ア 公共施設等における県産木材の利用の推進

令和元年度に竣工した県市町の公共施設 101 施設のうち、8施設が木造化され、34施設が木質化(うち17施設については延べ床面積50%以上の木質化)された。

#### イ 県産木造住宅等の建築促進

ひょうご木の匠登録工務店による県産木材の魅力を活かした木造住宅の設計支援(設計件数102件)やひょうご木の匠の会が県産木造住宅の展示・相談会等で行うPR活動を支援した(神戸市ほか14市町33回)。

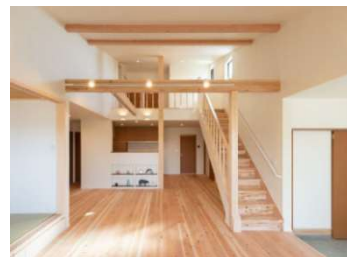
#### ウ 新たな建築材料の活用

兵庫県林業会館(H31.1竣工)は、CLTを活用した中高層建築物の先駆的モデルとして全国から注目を集め、令和元年度末までに建築設計事務所や自治体など48者465人が視察に訪れた。

兵庫県林業会館をモデルとして、現在、(株)タクマ(バイオマス発電プラントメーカー)が、尼崎市内でCLTと耐火集成材を採用した6階建てビルの建築を進めている(R2.10完成予定)。



県立公園あわじ花さじきの木質化(淡路市)



県産木材の魅力を活かした木造住宅(稲美町)

### (3) 木質バイオマスの利用促進

木質バイオマスの利用拡大を図ろうとする中間事業者に対し、チップ製造機等設備増強を支援するとともに、燃料用原木の仕分けに必要なバイオマスヤードの整備を支援した(多可町4カ所、丹波市1カ所、佐用町1カ所)。

### (4) 県産木材利用の普及啓発

木製玩具や遊具に触れて木の良さを感じ、親しんでもらうため、保育所等で木育キャラバンを実施した(20カ所 参加者1,638名)。

また、ひょうご森のまつりや森林環境税フェア等のイベントを通じて、多様な木材利用の普及啓発を推進した。



木育キャラバンの様子(神戸市)